

会議録

審議会等名	令和2年度第3回 つくばみらい市国民健康保険運営協議会会議録
開催日	令和2年7月30日(木)
開催場所	つくばみらい市役所 谷和原庁舎2階 第1・第2会議室
出席者	出席委員 高木 寛房, 今川 英明, 古川 よし枝, 鈴木 美和子, 青木 一郎, 小菅 新一, 横張 雅彦, 飯塚 伸泰 欠席委員 岡本 善隆 事務局 須加尾保健福祉部長, 明都国保年金課長, 嶋田課長補佐, 根本主査, 沼尻主査, 原田保健師, 興津主事
議案	報告事項 令和元年度つくばみらい市国民健康保険特別会計決算見込について
議案概要	<ul style="list-style-type: none"> ・開会 午前10時 明都課長 ・会長あいさつ 高木会長 ・会議録署名委員の指名 飯塚伸泰委員, 鈴木美和子委員 ・議案 令和元年度つくばみらい市国民健康保険特別会計決算見込について事務局から説明し承認を得た。 <p><質疑等> 古川委員 一般会計操出金の内訳はどのようなものか伺います。</p> <p>事務局 内訳は主に事務費関係となります。なお, この一般会計操出金は平成30年度に一般会計から繰り入れた繰入金について, 平成30年度決算で確定した余剰分を令和元年度に一般会計へ返還したものです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その他 <p><質疑等> 古川委員 令和3年度から保険税算定方法の県内統一を目指すということが, 令和4年度に延期されたわけですが, それについて,</p>

	<p>担当課がどのように考えているのか伺います。県では所得割と均等割の2方式ということであるが、所得の少ない方が多い国保の場合、安定的財源として均等割を重くしなければ成り立たないという状況が起きてくると思います。そうすると、応能応益割合について、応益割合が増えてくるのが心配されます。国保加入者には非正規雇用の方や所得の低い方達もいるので、心配しているのですが、担当課ではこの点をどのように考えているのか聞きたいと思います。</p> <p>事務局 国保税の算定方式について、3方式から2方式へという県の方針がありますが、現時点では応益割合を増やす、或いは応能割合を増やすといった具体的な検討の段階に入っておりませんので、今後県から示される国保事業費納付金や国保財政の状況等を鑑みながら検討していきます。</p> <p>古川委員 基金残高は今年度末で想定すると約6億8千万円になると思います。私は保険税の算定をもう少ししっかりとすべきだと思っており、特に負担の重い均等割を低くしていくということとずっと主張してきたため、今度更に負担が大きくなるか心配して先程の質問をしたものです。7億円近い基金というのはこの財政の中で貯めておくのはいかがなものかと思えます。将来への備えといいますがけれども、今回新型コロナのこともあり、基金を使うことも必要かと思えますので、意見として述べさせていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回 令和2年度第4回を12月中旬から下旬頃予定 ・閉会 午前10時40分 明都課長
<p>そ の 他</p>	<p>傍聴人 1名</p>

以上、上記議事を明確にするため、この会議録を作成し、会長及び会議録署名委員が次に署名捺印する。

会 長

会議録署名委員

会議録署名委員